

# 人気者「ミラたん」石像

富山県 魚津市 中川石材が製作・寄贈

富山県魚津市は、蜃気楼の現れる町として全国的に知られている。その魚津市の魚津駅観光案内所に昨年11月13日、魚津市のイメージキャラクター「ミラたん」の石像が設置され、同市を訪れる観光客らに好評だ。

同市では昨年、魚津市制60周年の特別企画で、魚津市のイメージキャラクターを募集したところ、全国から1020点の応募があり、選考委員会での審査の結果、「ミラたん」が選ばれた。「ミラ」は「ミラージュ（蜃気楼）」のミラが由来。「ミラたん」は、ぽつちやりとした海のカラダ、蜃気楼の

アタマをかたどった魚津が大好きなユルキャラ。

魚津市内に自宅のある中川石材・中川武志氏は、昨年9月に行われた魚津市の商工フェア〇〇《まるまる》魚津に「ミラたん」の石像を製作・出展したところ、市側から「ぜひミラたんを寄贈して欲しい」との要請があった。これには中川氏も二つ返事でOK！駅前への寄贈・設置となった。

「ミラたん」像は、外国産みかげ石で作られており、台座からの高さ約1m。台座は片貝川流域の石が使われている。石像を寄贈した中川氏は、「ミラたん像で魚津市が

活性化していただければこんな嬉しいことはありません。みんなでミラたんの頭を撫でてやって下さい」と語っている。

## 94年続く老舗石材店

中川石材（中川武男代表）は大正8年、魚津市上口にある現在の自宅近くで初代・中川竹次郎氏が創業。その後、二代目・左一氏と続き、三代目・武男氏の昭和55年、滑川市の現在地に工場を移転、さらに平成12年には展示場を新設し、現在に至っている。

四代目・武志氏も一級技能士（石材加工・石張り）、お墓ディレクター。一級の資格を持ち、活躍中だ。今回寄贈した「ミラたん」像は、武志氏が原石から仕上げた。



魚津市のイメージキャラクター「ミラたん」（右）と石像（中央）、左に立つのは寄贈した中川武志氏



最近、同社が施工した高級墓



中川石材の事務所・展示場

## 半数以上が洋型墓

同店の話によると、最近のお墓は「高さが低く、掃除のしやすさから、和型が少なくなり、洋型墓・デザイン墓が多くなっている。全体の3分の2以上」だという。同店では、石材切削機・研磨機・字彫機もひと通り完備しており、「中国産製品の手直しは当店で行っており、できればすべて自社加工したいところだが、最近では自社加工製品は1〜2割ほど」と近況を説明している。

### ◆中川石材

富山県滑川市大窪135  
TEL & FAX 076-471-2920

<http://www.nakagawa-stone.com>